

[環境]

2010年11月2日
富士通セミコンダクター株式会社

当社岩手工場、平成22年度「循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」受賞 ～3R活動優良企業として、富士通グループ初の受賞～

富士通セミコンダクター株式会社（注1）の岩手工場（工場長：俵山佳也、岩手県胆沢郡金ヶ崎町）は、廃棄物などの循環的な利用拡大の継続した取り組みにより、本日開催される第5回3R推進全国大会において、3R活動（注2）優良企業として平成22年度「循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」を受賞します。同表彰の受賞は、富士通グループとして初めてとなります。

「循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」は、3R活動、すなわち廃棄物の抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再生利用（Recycle）の推進により、生活環境の保全、資源の有効利用などに功績があった個人、団体、企業を表彰するものです。

当社グループは、LSIの開発・製造などを事業としており、環境行動指針として、廃棄物の発生量削減、および適正な再資源化を積極的に推進することを掲げています。

岩手工場ではLSIの製造を行っており、製造過程やそれに付随して発生する産業廃棄物、および食堂生ゴミなどの生活系廃棄物のリユース・リサイクルシステムを構築しました。2002年3月にはゼロエミッション（注3）を達成し、現在も継続し実施していることが評価されたものです。

【リユース・リサイクルの具体例】

排水処理汚泥	セメントの原料として利用
廃酸	再利用、または凝集剤・肥料の原料として利用
廃アルカリ	濃縮回収し酸系ガス吸収剤の中和剤として利用
金属クズ・廃却設備	解体洗浄し再資源として利用
食堂生ゴミ	堆肥化施設により肥料化し肥料として使用

当社グループは、今後も製品の開発や製造を通して、低炭素で豊かな社会の実現を目指して取り組んでいきます。

以上

【注釈】

(注1) 富士通セミコンダクター株式会社：

代表取締役社長 岡田晴基、本社 神奈川県横浜市。

(注2) 3R 活動：

廃棄物の抑制 (Reduce)、再使用 (Reuse)、再生利用 (Recycle) の3つのRに取り組むことでごみを限りなく少なくし、それによりごみの焼却や埋め立て処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会 (=循環型社会) をつくろうとする活動。

(注3) ゼロエミッション：

企業活動を通じて発生する廃棄物を、新たに他の分野の原材料として活用することで、廃棄物ゼロを目指す取り組み。総投入量=総生産量という究極のリサイクルが最終目標となる。循環型社会に貢献する考え方の一つ。